

押船第十一大栄丸台船第十二大栄丸衝突事故に関する情報提供について

国土交通省へ以下のとおり情報提供を行いました。

1. 事故の概要

押船第十一大栄丸、台船第十二大栄丸衝突事故は、押船が台船を押航中、押船と台船を連結している部分が外れ、押船と台船が衝突した事故であり、事故の概要は、以下のとおりである。

- ① 発 生 年 月 日 平成 2 5 年 2 月 1 6 日
- ② 発 生 場 所 千葉県袖ヶ浦市沖
- ③ 事故の経緯

押船第十一大栄丸は、船長及び機関長ほか 1 人が乗り組み、袖ヶ浦市沖で台船第十二大栄丸を押航中、荒天のため航行の継続が困難となり錨泊しようとしていたところ、押船と台船を連結している装置が外れ、押船と台船が衝突した。

押船は、衝突した際、機関室の右舷外板に破口が生じて、浸水し沈没した。

2. 事実情報

今後の調査により、事実関係を確定することとしているが、現在までの調査で明らかになった事実は、以下のとおりである。

本事故は、押船が、荒天時に袖ヶ浦市沖で台船を押航中、押船と台船を連結している装置が外れ、押船と台船が衝突して、機関室の右舷外板に破口が生じて、浸水し沈没した。

押船第十一大栄丸及び台船第十二大栄丸は、押船の船首部分を台船の船尾の切り欠き部に、はめ込み、特殊な連結装置で継ぎ、押船側の推進力で台船を運航する、プッシャーバージと呼ばれる船舶であり、押船の機関室の寸法割合が、一般貨物船と比較して非常に大きい。

3. 過去同種事故事例

過去、運輸安全委員会が公表した事故調査報告書のうち、本事故と同種の事故事例は 2 件である。
(別紙 1 のとおり。)

一体型プッシュヤバーバージの同種事故事例一覧

No.	事故名	発生年月日	発生場所	事故の概要	報告書公表
1	押船第8駿河丸ババーバージ丸協-8001浸水	平成21年11月3日	東京都 大島町伊豆大 島灯台から真 方位053° 15.8km付近	押船第8駿河丸(125トン)は、船長ほか5人が乗り組み、ババーバージ丸協-8001(4,617トン)を押航し、強い風及び波を受けながら相模灘を南西進中、ババーバージ丸協-8001との連結装置が外れて両船がぶつかり、船体に破口が生じて浸水した。 押船第8駿河丸はえい航中に沈没したが、本事故で死傷者はいなかった。	平成22年7月
2	押船第五十五北上丸台船北上七号衝突	平成20年9月27日	福島県 相馬市に所在 の鵜ノ尾崎灯 台から真方位 022°10.5海里 付近	押船第五十五北上丸は、船長ほか3人が乗り組み、無人で空倉の台船北上七号と合成繊維製クローズアップ等で接続して押船列を構成して航行中、北西風が強吹して海上時化模様となり、船首を風波に向けて支えていたところ、ワイヤロープが破断して押船第五十五北上丸と台船北上七号が錐揉み状態となり、押船第五十五北上丸右舷船首と台船北上七号船尾中央部とが衝突した。 その後、押船第五十五北上丸、台船北上七号の両船は分離した状態で、船船所有者が手配した引船及び僚船により石巻港に入港した。	平成21年4月